

吾も紅の2月は、節分の行事から始まります。巻き寿司の得意な利用者さん（長年道の駅に出していたそうです）に巻いてもらい、手作りの恵方巻もどきを作ります。一方、気合いの入った衣装に身を包んだ「赤鬼&青鬼ガールズ」が皆さんに襲い掛かり、豆つぶてを喰らって倒され、場を盛り上げていました。「食べ物を投げたらいかん」とMさんだけはプリプリ。渡された甘納豆の小袋を握りしめ、投げずにちゅっかり食べていました。



さて、今月の目標は「お楽しみデイを作る」。職員一人ひとりが企画したお楽しみを実行します。ざっとあげると・・・

①杖ヶ淵公園散策、②見奈良菜の花、②手打ちうどん、③ボーリング大会、④二の丸庭園、⑤楽器作りと演奏、⑥七折梅見、⑧お好み焼きパーティー・・・でした。

このうち、手打ちうどんは小麦粉を踏むところから利用者さんにお願ひしました。

代わる代わる足の裏を使って生地を練りますが、これが結構力仕事。

腰のあるうどんを作るには大切な工程です。主に男性利用者のIさん、Kさんのお二人が粘り強い活躍を見せてくれました。ふうふう言いながらもりっばなうどん生地ができました。一方、女性陣はかき揚げを作ります。材料を切って混ぜてフライヤーで揚げて。大量のかき揚げを作るのに大忙しです。寝かせた生地を、今度は麺棒で伸ばします。ここも男性利用者お二人が大活躍。生地が切れないように薄く伸ばしていきます。それを切ってゆでるのが職員の出番でした。やっと出来上がった天ぷらうどん！汗を流しただけに感慨深さもひとしおです。とても美味しいと評判でした。



さて、それぞれに工夫したお楽しみ行事の他にも、イレギュラーのお出かけがありました。梅が咲いた知らせに道後公園へ。みかん狩りすると聞いて窪野へ。（お手伝いにはなりませんでしたが、お土産にたくさんミカンや野菜をいただきました）つくしがたくさんあると聞けば久谷へ。（車いすから降りて皆さんたくさん摘みました、もちろんその後ハカマ取をして食卓に。）陽光桜が咲いたと見れば岩堰へ花見に。どの方も外に出るととても喜ばれていました。

七折はコロナのため梅まつりは中止されましたが、逆に人出が少ないためゆっくり梅を堪能できました。やはり、梅の里。一見の価値あります。

室内でホットケーキや東京ケーキを焼いたりもしました。書ききれないほどとても盛りだくさん！利用者さんが楽しいと、職員も楽しい。いつもの月より短いはずの2月ですが、何倍にも充実した28日間でした。

※窪野のMさん、久谷のWさんご協力ありがとうございました。

